應策目:	一方列と	<u>連携による活動を促</u> 基礎情報	進りる							平原	成25年度	評価					# 0 c / * *	± 100				67 AL -L	ナムのチャナ	(古)- オマ **	1 4 P		广州海州		*後の古	₩ 🖂 BI
	事務事	事業	対事業		指標・	目標			実績	ŧ			事後評価				戊26年度記					経宮改善	方針の重点事	頃に係る耶			広域連携に関する取組		後の事業	
**************************************		+ 70 + 40 -	第 の			目標値		活動		1 - E	決算内訴 _{当該事務事}		主機の状	25年度		活動	u dale	予算内訳		業経	営改善	経営改善によ					広域 土地末地の	必要	性	予算
事 業 No.	争務争果 (第2次実施計		顧 質	名称	25年度	第2次実施計画)	活動	活動指標の 名称	目標値	実績値	(活動ごとの 決算額 27,332	事業の指 標の達成 状況 事務事業の目的に対 する成果の状況	の取組に対する分析	活動	活動量・1 活動指標の 名称	り目標値	業全体の 予算額 (合計)	活動ごとの 予算額 33,984	務 方	針での		目標 (数値目標等)	目標の定 義	改善時期 (年度)	具体的な 改善内容	広域連携の の 実施	②ニーズ	③成果	事業の方向性
1 *	茅ヶ崎市環 マネジメン システム推 事業	PDCAサイダー 手をリースを影響をよるルーンの場合を 関連をよるルーンの場合を 関連のようでは 関連のようでは があるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	定	環境に配慮した 業務改善の提案 数	実践可能な提 案数年 1 件以 上	実践可能な提 実践可能な 案数年1件以 案数年1十 上	y提 井以				550		8件の応募のうち1件 が優良な取り組みとし て表彰(茅ヶ崎市役所 エコオフィス賞)され た。また、指定管理者施 設を対象とした茅ヶ崎 市エコ管理賞を新たに 制設した。	А				546			なし									現状維持持
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推事業	境 ト					独自環境マネジ メントシステム の進行管理	上期及び下期 の報告受領回 数と課かいへ の指導・助言	年2回	年2回					独自環境マネジ メントシステム の進行管理	上期及び下期 の報告受領回 数と課かいへ の指導・助言	年2回													予算なし
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推 事業	· F					独自環境マネジメントシステム の職員研修	独自環境マネ ジメントシス テムの職員研 修	4月・10 月	0 4月・10月		158			独自環境マネジ メントシステム の職員研修	独自環境マネ ジメントシス テムの職員研 修	、 4月・10 刊		165											維持
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推事業	· F					外部監査の実施	外部監査の実施	年1回	年1回		372			外部監査の実施	外部監査の実施	年1回		381											維持
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推事業	· F					グリーン購入ガ イドラインの更 新	更新回数	年1回	年1回					グリーン購入ガ イドラインの更 新	更新回数	年1回													予算なし
1	茅ヶ崎市環 マネジメン システム推 事業	· F					低公害車の導入 実績の報告受領	報告回数	年1回	年1回					低公害車の導入 実績の報告受領	報告回数	年 1 回													予算なし
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推事業	· F					茅ヶ崎市環境マネジメントシステムの表彰の実 施	表彰回数	年1回	年1回		20			茅ヶ崎市環境マ ネジメントシス テムの表彰の実 施	表彰回数	年1回													予算なし
1	茅ヶ崎市環マネジメンシステム推 事業	· F					省エネ法・温対 法・県条例の報 告書提出	報告書の提出	7月まで	7月					省エネ法・温対 法・県条例の報 告書提出	報告書の提出	3 7月まで													予算なし
2 *	学校版環境 ネジメント ステム推進 業	学環境に 学ででは でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でであります。 でのでのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのでのでのであります。 でのでのであります。 でのであります。 でのでのであります。 でのであります。 でのであります。 でのでのであります。 でのであります。 でのであります。 でのでのでのでのであります。 でのでのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのであります。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	児童・ 定例定 生 教職員 型	発表会等参加材 数	小学校 2 校 中学校 2 校	小学校2校 小学校2校 中学校2校 学校2校	文中				30		スクールエコアクショ ンを全小中学校で実施 するとともに、新たな 校 で、ファン・ファン・ファン・ファン・コン・全衆会会開催 し、好評を博した。	А				30			なし						不可	未高	高高	現状維持 維持
2	学校版環境 ネジメント ステム推進 業	シ					学校版環境マネ ジメントシステ ムの実施	学校版環境マ ネジメントシ ステムの実施		全小学校 (19校) 全中学校 (13校)					学校版環境マネ ジメントシステ ムの実施	学校版環境マネジメントシステムの実施	全小学校 (19校) 全中学校 (13校)													予算なし
2	学校版環境 ネジメント ステム推進 業	シ 事					学校における環 境活動発表会の 開催	発表会参加校 数	小学校 0 札 中学校 2 札	交 小学校 0 校 交 中学校 2 校		30			学校における環 境活動発表会の 開催	発表会参加校 数	交 小学校 0 校 中学校 2 校	Ē	30											維持
3 *	茅ヶ崎市環 基本計画推 事業	市市民・取り元年 でいます。 市市・日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、	市民・ 事業 者・市	年次報告書の発 行	9月 (3月)	9月 9月 (3月) (3月)					852		7月(進 排状況報 告書書 行) 3月(年 以、報告書 発行) 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年	A				856		業務計画	なし						不可	未高	高高	現状維持
3	茅ヶ崎市環 基本計画推 事業	境					前年度の取組結 果及び担当課評 価の把握・整理	各課からの報告	4、5月	4、5月					前年度の取組結 果及び担当課評 価の把握・整理	施策実施担当課への照会	4、5月			業務計画										予算なし
3	茅ヶ崎市環 基本計画推 事業						前年度の取組結 果及び担当課評 価の把握・整理	進捗状況報告書の作成	7月	7月					前年度の取組結 果及び評価結果 の公表	進捗状況報告書による公表	7月			業務計画										予算なし
3	茅ヶ崎市環 基本計画推 事業						進捗状況報告書 作成及び市民意 見の募集	募集時期	7月	7月					計画の進捗状況 に対する市民か らの意見募集	募集時期	7月			業務計画										予算なし
3	茅ヶ崎市環 基本計画推 事業						環境審議会への諮問	諮問時期	7月	7月					環境審議会への諮問	諮問時期	7月			業務計画										予算なし

課かい名 環境政策課 環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した 活動と連携による活動を促進する

施策目標	環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した 活動と連携による活動を促進する 基礎情報						亚战	2 5 年度評	洒																	
	事務事業 指標・[目標				実績	干!!!	2 5 年及計	- ш		事後評価			平成	2 6 年度計	一		経営改	善方針の重点	事項に係る耳	取組		広域連携に関する耳	X組 今	後の事業	業展開
総	対象のの	目標値			活動	量・サービ:	7 문 *	決算内訳 i該事務事	(千円)	古巻へい		25年度		活動量・サ		予算内訳 (千円) 当該事務事	業経営改	善経営改善によ			-L -M		広域 二十二十二	必要性の	性	予算
事 業 No. ラ	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画) 第2次実施計画) 名称 (第	第2次実施計画	画)	活動	活動指標の		<u>`</u>	業全体の 決算額 (会計)	活動ごとの 決算額	事業の指標の達成 状況	事務事業の目的に対 する成果の状況	の取組に対す	活動	活動指標の		予算額 予算額	務 計 位置付	の る け 取り組みの	目標 (数値目標等)	目標の定 義	時期(年度)	具体的な 改善内容	広域 連携 の 実施	D 日 日 的	3 継続	事業の 方向性 方
グ	分 25年度	26年度	27年度		名称	目標値	実績値	27, 352		0000		る分析		名称	目標値	33, 984 33, 984	画 等	方向性					実施	達成ポーズ	果 性	性
	茅ヶ崎市環境			外部評価結果の 周知		_							外部評価結果の				業務									予質
3	基本計画推進事業			周知	周知の時期	10月	10月						施策実施担当課への周知	周知の時期	10月		計画									なし
	茅ヶ崎市環境			年次報告書及び									年次報告書及び				業									
3	基本計画推進			広報特集号によ る公表	公表の時期	3月	3月		832				大阪報告書及び 広報特集号によ る公表	公表の時期	3月	856	務 計 画									維持
	市民、事業者が自主的かつ積極																									
	的に負荷を低減 するよう行動す										スクールエコアクション発表会の開催や西側						片架 4	r+								
4	肝 作 「「以エルで占し」	2000人以 上	2000人以 上					1, 045		人	駐車場を利用した電気 自動車試乗・同乗会な ど新たな試みを実施	Α				1, 262	位置付 ないが り組み	取					不可	未高	高 高	現状維持 維持
	うえで必要とさ れる健全で恵み 豊かな環境を、										し、例年並みの集客と 参加者から好評を得る ことができた。						進める									
	将来の世代に引 き継いでいく。																									
																						環境フェアに 小学校が参加 できるよう夏				
																	位置付					休み以降に開催時期の変更 を検討する。				
4	環境フェアの 開催			環境フェアの開 催	関連事業も含めた開催日数	延べ3日以 上	16日		1, 045				環境フェアの開 催	関連事業も含めた開催日数	述べ3日以 上	1, 262	ないが り組み 進める	を制	2000人以上	環境フェア参加者	21	これにより、 環境フェアの 充実と環境政				持
																	2207					策課の繁忙期 との重複を避				
																						け、総人件費 を抑制する。 環境フェアに				
																						小学校が参加 できるよう夏				
	環境フェアの			理接つ = マヘ両	企画実行委員								理接コーマへ両	企画実行委員			位置付ないが		2000111	理性コーフ		休み以降に開 催時期の変更 を検討する。				予質
4	開催			環境フェア企画 実行委員会会議	会会議開催回 数	年5回	年10回						環境フェア企画 実行委員会会議	会会議開催回 数	年5回		り組み進める	を制	2000人以 上	参加者	21	これにより、 環境フェアの 充実と環境政				か な し
																						策課の繁忙期 との重複を避				
	市民、事業者、																					け、総人件費 を抑制する。				
	市が茅ヶ崎市環 境基本計画に定																									
5 \$40	められた責務を エコ 定 果たすことによ ワーク 定 メ・ホレの油 り、健全で恵み 加盟の 例 会議の関催问数 各3部会で年 行	各3部会で年	各3部会で年					93		年10回~	各部会活動に事務局と して参加・運営し、環 境市民講座の年4回開	Α				153	なし						不可	+ = 3		現状維持維持
5 100	あられた貴務を 果たすことにより、健全で恵み ・市との連 豊かな環境を維 携体制の推進 持し、環かの少ない持 持に、報告である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12回以上	12回以上					33		会を開催	催等より良い協働・連 携が図れた。	A				100	40						不可	不同「	9 6 7	50.00年行 持
	続的に発展する ことのできる社 会を構築する。																									
	市民・事業														個人会員40人以上											
5	者・市との連 携体制の推進			エコワーク総会 の開催支援	開催の時期	5月	5月		0				市民・事業者と の連携	会員数	団体会員 20団体以	153										持
															T											
5	市民・事業 者・市との連 携体制の推進			自然環境部会の 事務局	部会の開催回 数	年12回	年10回		5				自然環境部会の 事務局	部会の開催回 数	年12回											算な
	755 174 市リ 0.7 1 注 . 区																									L
5	市民・事業 者・市との連			環境まちづくり 部会の事務局	部会の開催回	年12回	年12回		88				環境まちづくり 部会の事務局	部会の開催回	年12回											予算な
	携体制の推進			即去00争扬问	30								即五00年初间	30												Ĺ
E .	市民・事業			環境学習部会の	部会の開催回	年10回	年 0 回		0				環境学習部会の	部会の開催回	年10回											予算
5	者・市との連 携体制の推進			事務局	数	年12回	平 9 回		U				事務局	数	平 1 2 凹											なし
	市民・事業			「茅ヶ崎の自然	運営委員会.								「茅ヶ崎の自然	運営委員会.												予
5	者・市との連 携体制の推進			環境を考える 会」の事務局	全体会の開催回数	年24回	年24回						環境を考える 会」の事務局	全体会の開催	年24回											算 な し
	市民、事業者、										広報紙、横断幕、イベ															
	市が責務を果た 定 定	- 14	- 11								ント等での啓発を実施 した。また、苦情の多					504										
6	がさき条例」 域の美観が保た 市、市民の健康 的な生活環境が で学者 型	0件	0件					342			かったペデストリアンデッキ上の喫煙所を移設した。移設後の喫煙	Α				504	なし						不可	未高	高高	現状維持持
	守られる。										所についての苦情はよ せられていない。															
6	「きれいなちがさき条例」			イベント等での	活動回数	年10回以 上	100		176				イベント等での	活動回数	年10回以	504										維
	周知事業			周知活動		上	_						周知活動		工											持
	「きれいなち			広報紙・ミーコ									広報紙・ミニコ													予質
6	がさき条例」 周知事業			広報紙・ミニコ ミ紙原稿作成	掲載回数	年3回以上	8 🗆						ム報机・ミーコ ミ紙原稿作成	掲載回数	年3回以上											なし
			1	1		1					<u> </u>	1	L							1	1					

課かい名 環境政策課 環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した

基礎情報 平成25年度評価 平成26年度計画 経営改善方針の重点事項に係る取組 広域連携に関する取組 今後の事業展開 指標・目標 事務事業 実績 事後評価 決算内訳 (千円) 予算内訳 (千円) 活動 活動 必要性 当該事務事 業全体の 決算額 (合計) 事業の指 標の達成 状況 する成果の状況 に対す る分析 活動量・サービス量 当該事務事 業全体の 予算額 (合計) 名称 日標値 33,984 33,984 経営改善 経営改善によ 方針での る 位置付け 取り組みの 方向性 目標値 (第2次実施計画) 活動量・サービス量 広域 連携 の 実施 事務事業名 (第2次実施計画) 事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画) 目標の定 義 改善 時期 (年度) 具体的な 改善内容 (顧客) 目標 (数値目標等) 名称 活動 活動指標の 名称 目標値 実績値 25年度 26年度 27年度 27, 352 27, 332 「きれいなち がさき条例」 周知事業 深夜花火禁止の 啓発とパトロー ル (7, 8月実施) 深夜花火禁止の 海岸のパト 啓発とパトロー ロール (7, ル 8月実施) 7回 うち2回雨 天中止 駅周辺での歩行 喫煙調査 調査回数 マナースペース 移設社会実験 数 アンケート件 数 1,000件 未実施 1回以上 光害 (サーチラ イト等) 使用制 限の周知 生した場合 違反者への勧 告 光害(サーチラ イト等)使用制 限の周知 農反者への勧 に対応 「きれいなち がさき条例」 周知事業 茅ヶ崎市環境基本条例に基づく 環境基本条例に基づら 環境基本計画管理 を図新たることに課題 や社会の新たり環境 の保全を及がらなったながらな一の保全を及び を主に対のの保全を を登します。 自然環境及び生活環境 の各分科会により環境 の各分科会により環境 を 本計画の進捗状況に 対する評価を行い、予 定どおり9月末までに答 行管理が図れた。 適正な進 行管理が図れた。 位置付け ないが取 り組みを 進める 環境審 議会委 員 型 年10回 年10回 年10回 1.714 2, 561 不可 未 高 高 高 現状維持 # 環境基本計 画のする審議 会・勉強国 会・勉強国数 位置付け ないが取 り組みを 進める 環境審議会の 運営 環境審議会の開 催及び運営 開催回数 環境審議会の開 催及び運営 開催回数 ⑦総人件費抑 5 💷 年8回以上 年13回 1, 361 年8回以上 1, 929 位置付け ないが取 り組みを 進める 環境審議会の 運営 環境審議会会議 資料作成 打合せ及び資 年8回以上 年13回 環境審議会会議 資料作成 打合せ及び資 年8回以上 ⑦総人件費抑 5 💷 環境審議会の 運営 進捗状況に対す る評価 評価期間 進捗状況に対す る評価 評価期間 6~9月 6~9月 6~9月 環境審議会から 進捗状況報告書 答申時期 の答申 自然環境や地球温暖化防止に関する各種薄煙の実施や情報提集と通向したを図し、環境学習推進事業 を行動にも広じ、できる人材を育成ともに、企作の人にも広げていくことのできる人材を育成する。 環境審議会の 運営 進捗状況報告書 に対する答申 答申時期 9月 概ね計画どおりに実施 できた。新たな試みと して、ホームページ上 に環境マップ作成サイトを構築し、小学校等 に紹介し環境学習の推 進に努めた。 150人 160人 170人 なし 不可 未 高 高 高 現状維持 持 環境学習推進 事業 こどもエコクラ ブの交流会開催 開催回数 こどもエコクラ ブの交流会開催 開催回数 3 💷 3 💷 環境学習推進 事業 里山はっけん隊 の実施 開催回数 里山はっけん隊 の実施 開催回数 2 💷 2 🗓 環境学習推進 事業 エコクッキング 事業の実施 開催回数 エコクッキング 事業の実施 開催回数 I 🗆 1 🗆 0 💷 おもしろ環境教 室(小学生対 象)の実施 開催回数 環境学習推進 事業 おもしろ環境教 室の実施 参加者数 67人 2 💷 50人 環境学習推進 事業 市民向け自然環 境講座の開催 開催回数 年3回 2 💷 環境講座の開催 開催回数 年3回 環境学習支援サイトによる情報 アクセス数 提供 環境学習支援サイトによる情報 アクセス数 提供 と 400 件 環境学習推進 事業 800件 1965件

課かい名 環境政策課 施策目標 環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した 活動と連携による活動を促進する

施敦	日標	加刺こ	された・争業で 連携による活動 基礎情報	を促進す	3									平月	戈25年度	評価											(= NV = 1 -									
		事務事	業	,	4 事		指	標・目標				VP BL	実績		`+ ** + =	(/ T III)		事後評価				成26年度記		(T.III)			経宮改善	善方針の重点事 	■項に係る即				携に関する取組		後の事業	
事業	総括	事務事業名	事務事	\$	素の性質	77 Th		目标(第2次集	票値 ミ施計画)			活動活動	・サービ		決算内訴 当該事務事 業全体の		事業の指	事務事業の目的に対する成果の状況	25年度 か取組		活動量・	サービス量	未土作の	活動ごとの	業務フ	経営改善 付針での	経営改善による	目標	目標の定	改善	具体的な	広域 連携	広域連携の具体的な内容を放成	② (3	4	予算事業のの
No.	ラグ	52次実施計画	目的·月 (第2次実施	計画)	質区分	名称	25年月	÷ 264	手度 27年		活動	活動指標の 名称	目標値	実績値	(00)	決算額 27, 332	- 7770	する成果の状況	に対す る分析	活動	活動指標の名称	目標値	予算額 (合計) 33,984	予算額 33,984	計画	立置付け 等	取り組みの 方向性	(数値目標等)	義	(年度)	改善内容	の 実施	容容容	ニーズ	継続性	5向性 方 向 性
9	地策推	球温暖化菜 実行計画の 進	地では、現場では、日本のでは、は、日本のでは、日	課温の事、ス抑制	元業 市	協議会の開催 数 (温室効果ガ 排出量削減目 標)			年5回 (20% 滅)						655		年5回開 催年度 (123暫定 (値) 8.7%減	温暖化か対策地進温温暖化が対策地進温の対策地域温や大切策地域温や大切策地域温や大切をが表現である。 は	А				1, 610		業務計画	なし						不可				製状維持
9	策	球温暖化 実行計画の 進									髪化対策推進 議会の開催及 運営	開催回数	年5回	年5回		5	5			温暖化対策推進 協議会の開催及 び運営		年5回		957	業務計画											維持
9	策	球温暖化 実行計画の 進								公共面線進	≒施設への壁 録化事業の推	壁面緑化実施 施設数	35か所以 上	27か所		6	6			公共施設への壁 面緑化事業の推 進	壁面緑化実施設数	恒 36か所以 上	Į	8	業務計画											維持
9	策	球温暖化 実行計画の 進								市民化の	そへの壁面緑 D普及	実施世帯数	200世帯	200世帯		90	0			市民への壁面緑化の普及	実施世帯数	200世帯	,		業務計画											維持
9		球温暖化效 実行計画の 進								する 者へ	暖化対策に関 る市民・事業 へのアンケー の実施	アンケート送 付数	3,000 通	3,000 通 回収率 28.2%		404	4			温暖化対策に関する市民・事業者へのアンケートの実施	アンケートは	<u>€</u> 3,000 通		389	業務計画											維持
9	策	球温暖化 実行計画の 進								確認 器を 省エ	2 10 10 10 10 70	貸し出し世帯 数(年間)	省エネナビ 35件、エ コワット3 5件	省エネナビ 9件、エコ ワット7件		0	0			電力使用量等の 確認ができる機 器を貸し出し、 省エネルギーの 実践や意識啓発 を図る	貸し出し世帯 数(年間)	省エネナビ 35件、エ コワット3 5件	:		業務計画											予算なし
9	策	球温暖化 実行計画の 進								周知	1啓発	活動回数 (キャンペー ン等)	年4回以上	年3回						周知啓発	活動回数 (キャンペ- ン等)	- 年4回以上			業務計画											予算なし
9	策	球温暖化 実行計画の 進								⇔ <=	K温暖16.対策 計画(行政 対組)の進行	平成22年度 を基準として 平成32年度ま でに002排出量 を20%削減	年平均2% 削減	集計中						地球温暖化対策 実行計画の進行 管理	年次報告書 <i>0</i> 発行	3月			業務計画											予算なし
9		球温暖化 実行計画の 進								等普	《エネルギー 音及啓発イベ 〜の開催	イベント開催	年2回	年 1 回		150	0			自然エネルギー 等普及啓発イベ ントの開催	- - - イベント開催	≝ 年2回		160	業務計画											予算なし
10	再ル促	生可能エ ギーの利 進	ネ目 茅発発る公者電進 ・電進 ・電差こ共へ設を の構図を に設太の明 のりま	及用り事光及 市事者 を を お を は 来発 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	₹・ 政策 ・市	サポートセン ター・こども・ ンターの太陽 発電設備売電!	z 10,000kWi 七 上	n以 10,000 上	kWh以 10,000kl 上	/h以					1, 203		11	市民活動サポートセン ター、こどもセンタト の売電収入及びするを基金に積み立すると ともに、その同額を マッチングギフトとし て積み立てた。	А				1, 177			あり						不可	未	90	『高現	予算なし
10		生可能エスギーの利用 進								基金	全への積立	基金への積立	年96万円	1,203, 203円		1, 203	3			基金への積立	基金への積む	年117万 円	ī	1, 177		あり	④選択と集中 の徹底・自主 財源の確保	960千円	太陽光発電 普及啓発基 金積立額	25	太陽 開 大 大 大 大 大 で で で で で で で で で で で で で					維持
11	備	陽光発電記 設置費補明 業	住電大ル ででは ででは ででは ででは ででは ででは ででは でで	及拡 エネ 産地 温室 排出	民族	補助件数	360件	360	件 360件	:					12, 012		337件	実績数は337件と目標値にわずかに届かなかったが、申請ベースでは368件あり概ね目標値を達成できた。	А				14, 990		業務計画	なし						不可	未	60	「高現	a状維持 維 持
11	太備事	陽光発電詞 設置費補明 業	殳 肋							住宅 電シ 設置	三用太陽光発 ノステム新規 置費補助金	補助件数(戸 建て) 補助件数(共 同住宅)	350件 10件	337件4件		12, 012	2			住宅用太陽光発 電システム新規 設置費補助金	補助件数(序 建て) 補助件数(ま 同住宅)	350件		14, 990	業務計画											維持
11	備	陽光発電詞 設置費補明 業								書及	加金交付申請 なび実績報告 0受付	補助件数	360件	3 4 1件						補助金交付申請 書及び実績報告 書の受付		360件			業務計画											予算なし
11		陽光発電記 設置費補明 業								周知	口啓発	活動回数	年2回以上	年5回						周知啓発	活動回数	年2回以上	1		業務計画											予算なし
12	継か	陽光発電記 用パワー: ディショフ 助事業	マに発し対の状な進りスびル進りスびル進を日本の情報を発し対していませる温排生一図 という はいまして はいまれる はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	陽設民能好続をに果制工及光置に力な的促よガ及ネ促市	民族	補助件数	2件	2件	2件						C		0件	広報紙やタウン紙を活 用し周知啓発に努めた が、目標には届かな かったという。 の経年3年の後年3年の後年3年の とから、今後成果が見 となる。					180			なし						不可	£	中高	§ 高 現	B状維持

課かい名 環境政策課 施策目標 環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した 活動と連携による活動を促進する

起水口味	石刺こ生法	氏・事業者・行 による活動を促 情報	進する									平月	戊25年度評	平価					ਹਾ d	よっら午度計	- (da)			经学办 第	*士針の電点	車項に依る取	tr &R		広域連携に関する	Bro & R	今後の事業展開	
	事務事業		対	事業		指標・	目標			活動	実績		決算内訳	(壬四)		事後評価			ー 活動	【26年度計	予算内訳	(壬四)		在 名 以 告	∯方針の重点됨 ┃	尹垻に旅る功	X THE		広域運捞に関する		要性	
総 事業 No.	事務事業名第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)	象 (顧客)	の 性	名称	25年度	目標値第2次実施計画	画) 27年度	活動		量・サービ		当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額 27,332	事業の指標の達成 状況	事務事業の目的に対 する成果の状況	25年度 の取組 に対す る分析	活動	活動量・+ 活動指標の 名称	ノーレ人里	当該事務事 業全体の 予算額 (合計)	業活動ごとの 発	方針での	経営改善によ る 取り組みの 方向性	目標(数値目標等)	目標の定 義	改善時期(年度)	具体的な 改善内容	広域 連携 の 実施		る。 ③ 成果 4 事業の 方向性	予算の方向性
12 備ン	陽光発電設 用パワーコ ディショナ 助事業								太陽光発電シス テムパワーコン ディショナ交換 費補助金	補助件数	2件	0件		0				太陽光発電シス テムパワーコン ディショナ交換 費補助金	補助件数	3件		180										維持
12 備ン	陽光発電設 用パワーコ ディショナ 助事業								周知啓発	活動回数 (キャンペー ン等)	年2回以上	2 🛭						周知啓発	活動回数 (キャンペー ン等)	· 年2回以上												予算なし
13 総 推	気自動車 EV) 普及 進に関する 助制度	地球温暖化防止 対策の推進のた め、走行時に二 酸化炭素を排出 しない電気自動 e (EV)の普及を 促進します。	市民、事業者	政補助策	件数	30件	30件	30件					3, 167		30件	環境フェア等で非常用 電源機能をPRすること により目標を達成する ことができた。	Α				2, 250	業務計画							不可	未高	高 高 現状維持	持持
13 (推補	気自動車 EV)普及 進に関する 助制度								電気自動車(E V)普及推進に 関する補助金	補助件数	30件	30件		3, 000				電気自動車 (E V) 普及推進に 関する補助金	補助件数	3 0件		2, 250 常計画										維持
13 (推	気自動車 EV)普及 進に関する 助制度	市域の温室効果							電気自動車(E V)の普及促進	電気自動車用 急速充電器の 利用回数	1200回	22930		167				電気自動車(E V)の普及促進	電気自動車用 急速充電器の 利用回数	12000		業務計画										予算なし
14 総の業	エネ機器等 導入支援事	ガス排出抑制、 省エネルギー化	市民	政補助策	件数	85件	85件	85件					4, 900		9017	広報紙やタウン紙による周知により目標値を 大幅に超える結果と なった。	А				5, 000	業務計画	なし						不可	未高	高 高 現状維持	持持
	エネ機器等 導入支援事								太陽熱利用設 備・コージェネ レーション設備 設置に関する補 助金	補助件数	85件	98件		4, 900				太陽熱利用設備・コージェネレーション設備 設置に関する補助金		100件		業 5,000 計 画										維持
15 2 環	市 1 町広域 境部会事務	藤の大きない。 藤の大きない。 東に大きない。 東に大きない。 東に大きない。 東には、 東には、 はない。 できない。 はない。 できない。 でもない。 でもない。 でもな、 でもな、 でもな、 でもない。 でもない。 でもな、 でもない。 でもない。 でもない。	市民	定例温暖で型型	化対策に関 事業	共同開催事業 を年 1 回以上 開催	共同開催事業 を年1回以上 開催	共同開催事業 を年1回以上 開催							年5回開 催	従前からの事業に加 え、新たに環境パスツ アーや水素をテーマと したイベントをなどと対策 他し、地球温暖化対策 や省エネルギー化の推 進を図ることができ た。	А				30		なし						済	未高	高 高 現状維持	持持
	市1町広域 境部会事務								2市1町広域環 境部会会議の開 催	会議開催回数	年6回	年5回						2市1町広域環 境部会会議の開 催	会議開催回数	年6回												予算なし
	市 1 町広域 境部会事務								事業計画に基づ く温暖化対策の ための共同開催 事業の実施	2市1町での	年1回以上 開催	年5回						事業計画に基づ く温暖化対策の ための共同開催 事業の実施	2市1町での			30										維持
16 総太レ	陽光発電ク ジット事業	住宅設・ ・ できない。 ・ でき	市民	政 登録	者数	制度認定	制度運用開始	100人					499		制度認定	NPO法人との協働推進事業によりプロジェクト 計画書を作成し、1月 に制度認定受けた。 4月より会員の募集を 始めている。	Α					業務計画	# 11						不可	未高	高 高 拡大	予算なし
	陽光発電ク ジット事業								協働推進事業に よる制度設計及 び国の審査機関 による認定	制度設計・認 定	3月末まで に認定	1月に認定		499				太陽光発電クレ ジット事業の推 進	参加者数	100人		業務計画	あり	①事業実施主 体の最適化	制度開始	25年度に制 度の認定を 受け、26年 度より運用 を開始す る。	26	市民活動団体 を事業主体と した発電設備 場光音及施策を 構築する。				予算なし
ち 17 総 ネ 推	がさきエコ ット事業の 進	地にト堂り者を交民市り、北上の は、大学のでは、大学のいいが、大学のいいが、大学のいいがいいが、大学のいいが、大学のいいが、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のいいが、大学のいいいいが、大学のいいいいいいいいいいが、大学のいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	市民・事業者・市	政 登録	者数	制度設計	制度構築	100人							基本的な 制度設計 3月末	温暖化対策推進協議会 及びNPO法人との協議に より、サイトの基本コ ンテンツ等の協議を実 施し、基本的な制度設 計は終了した。	Α				2, 465	業務計画	あり						不可	未高	高 高 現状維持	持減らす
17 ネ	がさきエコ ット事業の 進								地球温暖化対策 推進協議会によ る制度設計	制度設計	3月末まで に	3月						地球温暖化対策 推進協議会及び 市民活動団体に よる制度設計	27年4月の運 用開始に向け た制度構築	. 3月末まで に		2, 465 計画		①事業実施主 体の最適化	運用開始	地球温暖化 対策に特化 したポータ ルサイトの 連用	27	市民活動財体等をした。 等をした対策はは といけがまれる。 といけなれる。 にいける。 にいける。				減らす

課かい名 環境政策課 環境に配慮した市民・事業を内波の率先した

環境政策課

			巻による活動を を情報	促進する										平月	成25年度記	評価																		
		事務事業			+		指標	・目標					実績					事後評価			平成 2	26年度計	画			経営改善	善方針の重点事	耳項に係る取	組		広域連携に関する	取組	今後の事	業展開
á	2			4	業							活動			決算内訳	(千円)					活動		予算内訳										要性	予
事業	舌 事	务事業名	事務事業の	D	の性	7 14		目標値(第2次実施	[計画)			活動量	ł・サービ	ス量	当該事務事 業全体の	活動ごとの	事業の指	事務事業の目的に対する成果の状況	25年度 の取組		活動量・サー	-ビス量	当該事務事 業全体の	活動ごとの一系	大針での	経営改善による	目標	目標の定 義	改善	具体的な	広域 連携 の 実施	の ① ②	(2) (4)	事業のの
No.	5 (55.2)	欠実施計画)	目的・成 (第2次実施計	rate:	質区	名称				活	動	活動指標の		mbs (+ 1sb	決算額 (合計)	決算額	機の達成状況	する成果の状況	に対す る分析	活動	活動指標の	ī F	予算額 (合計)	予算額言	位置付け	取り組みの 方向性	(数値目標等)	義	時期 (年度)	改善内容	事施 具体的な	即二二	成続	方向性 方向
	7				分		25年度	26年度	27年度			名称	目標値	美積個	27, 352	27, 332			וווי נעשי		名称	目標値	33, 984	33, 984	1 7	N I I I						選成ズ	米性	性
888	災害動	応急対策	茅策二き役す調に害マづ策まった本二統制をまおり念二災動。中国では一次では、の境策ル応実が関いた。の境策ル応実が関い、の境策ル応実が関いた。	づのま 括携災動基対 民	定例定型																				なし									
888	災害活動	応急対策								災害対策 営ででは を では で で で で で で で で で で で で で り で り で り	アルに 部の災 マ 対策活動 見	マニュアルの 見直し	随時	4月・10 月						応急対策活動マ ニュアルの充実	マニュアルの名見直し	4月、10 月												
888	災害	応急対策								災統生対務 害括、策継るび 務様を が が 発 が が 発 が の が る が る で る ろ の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	部(衛 療棄物 及びにお かの確認	舌動の確認及 が周知	環境部全職員	6月・11 月						応急対策業務の 実施手順の検証	行動手順書の 4 見直し	4月、10 号												
888	災害活動	応急対策																		所属職員の応急 対策業務の実施 手順の習熟	所属内での訓 st 練・研修実施 閉	年1回以上 開催												
888	災害活動	応急対策																		統括調整部衛 生・災害廃棄物 対策班の応急対 策活動の習熟	統括調整部衛 生・災害廃棄 物対策班での 訓練・研修等 の実施	年1回以上 開催												
888	災害活動	応急対策																		統括調整部総括 情報班の応急対 策活動の習熟	統括調整部総 括情報班での 訓練・研修等 の実施	■ 9□												
888	災害活動	応急対策																		関係機関との連 携強化	災害時の対応 についての協 st 議	≢1回以上												
888	* 庁内	共通事務	庁内共通事務 取りまとめや 内外の照会回 を行う	庁 課員	定例定型										64	64							65	65	なし									
999	部内	調整事務													46	46	6						40	40	なし									